

# 子ども医療費の無料化 10月より中学校卒業までに

第449回高知市議会定例会が12月に開かれました。日本共産党市議団は、代表質問や個人質問において、桑名新市長の政治姿勢を問いました。

市民の皆さんからご要望が強かった中学校卒業までの医療費助成は、今年10月から開始する方向が示されました。平和と生活を守る高知市民の会による6380筆の署名など、市民運動が大きな力となり実現したものです。日本共産党は、さらに中核市62市の半分以上が制度化している高校卒業までの無料化拡充も求めました。

## 市長、県議当時の統一教会の 意見書反対は撤回せず

市長は県議当時、「旧統一教会との関係を断ち、被害者救済を求める意見書」に反対しています。その態度を撤回すべきではないかとの質問に、一切の関係を断つことは現実的でないため反対したとし、撤回に背を向けました。

## 自由民権150年

自由民権記念館前で



# 市議会ニュース

2024年冬号 12月議会特集

日本共産党 高知市議団

## 子育て支援など 市民の要望が実現



12月補正予算は、我が会派が市民の切実な願いを受け、これまで要望してきた施策が多く盛り込まれており、賛成しました。

物価高騰対策の緊急支援として、低所得世帯への生活支援給付金の給付、保育料・児童クラブ等の保護者負担の軽減、学校給食費・保育所等副食費の負担軽減などの支援策が講じられます。社会福祉施設等への光熱費支援や中小企業支援、農業支援なども追加・拡充されます。

## 副市長人事に反対

副市長に弘瀬優氏を選任することに同意を求める議案が、賛成多数(賛成18人、反対6人[共産]、棄権9人[市民ク1、及び市長与党の自民・中道2・公明6])で可決されました。

市長は不祥事の多い市役所を変えると掲げていましたが、納得できる説明はなく、日本共産党市議団は、西日本豪雨時に、市民の命を守るべき防災対策の責任者でありながら競馬旅行に出かけ、懲戒処分を受けた経歴や、緊急時の判断力等の資質などから総合的に判断し、反対しました。

## ガザ即時停戦の意見書 が全会一致で採択

議員提出議案では、「ガザの即時停戦と人道支援に日本政府の一層の外交努力を求める意見書」を提出し、その趣旨を生かした修正、差し替えなどを行い、全会一致の採択のため奮闘しました。

また、「港湾・空港の軍事利用を容認しないことを求める」、「大阪・関西万博の中止を含めた再検討を求める」「食料安全保障の確立のため、食料自給率の向上につながる取組の強化を求める」など4件の意見書を提案しました。